

JIS

排ガス中のシアン化水素分析方法

JIS K 0109 : 2014

(JEMCA/JSA)

平成 26 年 7 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 環境・資源循環専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	稲 葉 敦	工学院大学
(委員)	安 藤 修	一般社団法人日本分析機器工業会 (株式会社島津製作所)
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	尾 張 真 則	東京大学
	小 竹 忠	一般社団法人日本自動車工業会
	佐 藤 実	一般社団法人電子情報技術産業協会
	田 尾 博 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	田 村 一 之	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中 村 利 美	一般財団法人化学物質評価研究機構
	西 尾 チヅル	筑波大学
	藤 倉 まなみ	桜美林大学
	二 村 睦 子	日本生活協同組合連合会
	松 本 芳 彦	一般社団法人日本化学工業協会
	茂 木 なほみ	主婦連合会
	横 山 宏	一般社団法人産業環境管理協会
	吉 川 和 身	環境省総合環境政策局
	脇 浩 史	一般社団法人日本電機工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 44.5.1 改正：平成 26.7.22

官 報 公 示：平成 26.7.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本環境測定分析協会

(〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 TEL 03-3878-2811)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：環境・資源循環専門委員会 (委員長 稲葉 敦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 一般事項	2
4 分析方法の種類及び概要	3
5 試料ガス採取方法	3
5.1 試料ガス採取	3
5.2 試薬及び試薬溶液の調製	3
5.3 器具及び装置	4
5.4 採取操作	6
5.5 試料ガスの採取量	7
6 分析用試料溶液及び試料ガスの調製	8
6.1 ガスクロマトグラフ法の場合	8
6.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法の場合	8
7 定量方法	8
7.1 ガスクロマトグラフ法	8
7.2 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法	12
8 分析結果の記録	14
8.1 分析値のまとめ方	14
8.2 記録項目	14
附属書 A (規定) イオン電極法	18
附属書 B (規定) イオンクロマトグラフ法	23
附属書 C (参考) ガスクロマトグラフ法に用いる試料採取方法	28
解 説	31